



令和4年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年8月4日

上場会社名 パルステック工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6894 URL <https://www.pulstec.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 幸博
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)工藤 孝史 (TEL)053-522-5176
四半期報告書提出予定日 令和3年8月6日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年3月期第1四半期の連結業績(令和3年4月1日～令和3年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年3月期第1四半期	429	26.9	4	—	9	—	3	—
3年3月期第1四半期	338	△17.9	△40	—	△39	—	△33	—

(注) 包括利益 4年3月期第1四半期 2百万円(—%) 3年3月期第1四半期 △34百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年3月期第1四半期	2.61	—
3年3月期第1四半期	△24.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
4年3月期第1四半期	3,958	2,936	74.2
3年3月期	4,001	2,995	74.9

(参考) 自己資本 4年3月期第1四半期 2,936百万円 3年3月期 2,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
4年3月期	—	—	—	—	—
4年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年3月期の連結業績予想(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,200	54.0	109	—	116	—	93	—	68.32
通期	2,200	5.3	181	13.6	196	2.1	151	△3.4	110.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年3月期1Q	1,393,459株	3年3月期	1,393,459株
② 期末自己株式数	4年3月期1Q	24,876株	3年3月期	24,876株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4年3月期1Q	1,368,583株	3年3月期1Q	1,368,583株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、再三にわたる緊急事態宣言の発令にもかかわらず、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からず、依然として厳しい状況で推移いたしました。世界経済につきましては、ワクチン接種が本格化した地域では感染者が激減し、一部に明るい兆しが見え始めましたが、感染力の強い新型コロナウイルスの変異種が至る所で確認されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動縮小の影響に加え、半導体関連の供給難により輸送機器関連業界を中心に生産が逼迫するなど、依然として厳しい受注環境となりましたが、新規製品の引合いも徐々に増加しており、緩やかな回復傾向で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、展示会への出展、各種学会への参加、デモ機の貸出しなどの従来方式による営業活動に加え、顧客とのWEB会議の開催、ホームページの拡充、インターネットを活用した動画配信などの新たな営業スタイルの早期確立に注力することで、受注確保に努めました。

以上の結果、売上高は4億29百万円（前年同期比26.9%増）、営業利益は4百万円（前年同期は40百万円の損失）、経常利益は9百万円（前年同期は39百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3百万円（前年同期は33百万円の損失）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

（X線残留応力測定装置関連）

中止や延期となっていた国内の展示会、学会、内覧会等は徐々に再開されたものの、コロナ禍の影響により来場者が大幅に減少したことから、WEBによる併設展示、SNSによる情報発信、WEB会議の開催など、来場できなかった既存顧客や潜在顧客へのインターネットによるアプローチを積極的に展開いたしました結果、売上高は1億6百万円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益は22百万円（前年同期比262.8%増）となりました。

（ヘルスケア装置関連）

新たな受託開発・試作・量産等の引合いは好調に推移するとともに、受注済み装置の生産も計画どおり進捗したことから、売上高は1億99百万円（前年同期比58.8%増）、セグメント利益は37百万円（前年同期は54万円の利益）となりました。

（光応用・特殊機器装置関連）

個別案件の引合いは増加傾向で推移いたしました。顧客都合による生産計画の変更に伴う受注時期の先送りや出荷台数の減少等の影響により、売上高は1億24百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は21百万円（前年同期比36.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて42百万円減少し、39億58百万円となりました。これは主に、現金及び預金が69百万円、仕掛品が48百万円それぞれ増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が1億60百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて16百万円増加し、10億22百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べて58百万円減少し、29億36百万円となりました。これは主に、利益剰余金が58百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年3月期の連結業績予想につきましては、令和3年5月12日付の決算短信で公表いたしました第2四半期（累計）及び通期の業績予想のとおりであり変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和3年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和3年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,675,979	1,745,004
受取手形及び売掛金	610,956	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	450,774
仕掛品	485,858	534,464
原材料及び貯蔵品	114,708	104,092
その他	28,592	29,137
流動資産合計	2,916,096	2,863,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	247,711	250,407
その他(純額)	305,519	317,110
有形固定資産合計	553,230	567,517
無形固定資産		
投資その他の資産	32,516	29,693
投資その他の資産		
投資その他の資産	505,304	504,011
貸倒引当金	△5,800	△5,800
投資その他の資産合計	499,504	498,211
固定資産合計	1,085,251	1,095,422
資産合計	4,001,347	3,958,896
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	210,399	198,422
1年内返済予定の長期借入金	10,320	10,320
未払法人税等	7,619	8,499
賞与引当金	28,995	27,189
その他	128,844	156,479
流動負債合計	386,178	400,911
固定負債		
長期借入金	174,700	172,120
退職給付に係る負債	445,426	449,664
固定負債合計	620,126	621,784
負債合計	1,006,305	1,022,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	929,795	929,795
利益剰余金	731,054	673,041
自己株式	△165,878	△165,878
株主資本合計	2,986,347	2,928,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,912	8,164
為替換算調整勘定	△218	△298
その他の包括利益累計額合計	8,694	7,865
純資産合計	2,995,042	2,936,200
負債純資産合計	4,001,347	3,958,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)
売上高	338,606	429,680
売上原価	224,940	285,443
売上総利益	113,666	144,237
販売費及び一般管理費	154,449	139,315
営業利益又は営業損失(△)	△40,783	4,922
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,447	1,178
売電収入	3,848	3,413
貸倒引当金戻入額	1,000	-
その他	122	2,171
営業外収益合計	6,418	6,763
営業外費用		
支払利息	165	131
為替差損	2,969	361
売電費用	2,042	1,886
営業外費用合計	5,178	2,380
経常利益又は経常損失(△)	△39,543	9,304
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△39,543	9,304
法人税等	△5,772	5,731
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,770	3,573
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△33,770	3,573

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,770	3,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△442	△748
為替換算調整勘定	△494	△79
その他の包括利益合計	△936	△828
四半期包括利益	△34,707	2,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,707	2,744
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 令和元年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。収益認識会計基準を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。

なお、収益認識会計基準第89-4項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」

(企業会計基準第12号 令和2年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
外部顧客への売上高	94,279	125,548	118,778	338,606
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	94,279	125,548	118,778	338,606
セグメント利益	6,224	542	33,355	40,122

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	40,122
全社費用(注)	△71,896
棚卸資産の調整額	△9,009
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△40,783

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	106,174	199,430	89,801	395,406
一定の期間にわたり移転されるサービス	—	—	34,274	34,274
顧客との契約から生じる収益	106,174	199,430	124,075	429,680
外部顧客への売上高	106,174	199,430	124,075	429,680
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	106,174	199,430	124,075	429,680
セグメント利益	22,583	37,281	21,055	80,920

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	80,920
全社費用(注)	△71,698
棚卸資産の調整額	△4,300
四半期連結損益計算書の営業利益	4,922

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	16,847	10.9
ヘルスケア装置関連	308,149	219.4
光応用・特殊機器装置関連	121,724	120.8
合計	446,721	112.7

(注) 1. X線残留応力測定装置関連については、生産調整により減少しております。

2. 生産高は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	162,016	139.5	142,845	123.8
ヘルスケア装置関連	358,432	64.2	1,235,233	140.0
光応用・特殊機器装置関連	192,921	102.8	375,970	54.3
合計	713,370	82.8	1,754,049	103.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	106,174	112.6
ヘルスケア装置関連	199,430	158.8
光応用・特殊機器装置関連	124,075	104.5
合計	429,680	126.9

(注) 主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

なお、総販売実績に対する当該割合が100分の10未満である販売実績につきましては、記載を省略しております。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
東洋紡株式会社	75,664	22.3	126,003	29.3
株式会社日立ハイテク	73,715	21.8	68,412	15.9
ミナリスメディカル株式会社	—	—	43,263	10.1